

藤花 TOUKA

YEG 2013 vol.48

倉敷商工会議所青年部

倉敷市白楽町249-5 / TEL086-424-2111(代)

倉敷商工会議所青年部 Eメールアドレス / kyeg@mx5.kct.ne.jp

http://www.kurashiki-yeg.jp/

■発行人 / 矢野 稔洋

■編集 / 朝日委員会

■発行 / 平成25年7月1日



— 2013 SLOGAN —

「創造的発展」

会長 矢野 稔洋

YANO TOSHIHIRO



平成23年度は倉敷YEGにとって歴史に残る一年でした。東日本大震災のあった年に中国ブロック大会倉敷大会開催を盛り、昨年はスローガンに沿って未来航海図を描いた貴重な一年だったのではないでしょうか。

平成25年度を取り巻く環境は今まで以上に厳しい一年が予想されます。世界的にはいまだに治まらない欧州金融危機や中国经济の鈍化、国内においても消費税増税法案が通過し、業種によっては増税の大規模な需要冷え込みも予想されます。また中長期的には国そのものが先進国初の未曾有の少子・高齢化・人口減時代へと確実に突入しています。

そのような中、まずは各々が企業として足元を固めて下さい。

経済界では過去の常識が一瞬にしていとも容易く現実に崩れています。知らず知らずの間に身についた過去の常識に捉われず、青年経済人らしく情熱を持つて「創造

■ 基本理念 ■
我々会員ひとりひとりが、この時代のYEGの存在意義を今一度再確認しよう。
目的をよく確認し常に青年経済人らしい情熱で、過去の常識に捉われず、「創造力」を發揮して挑戦している。

今年度の倉敷YEGは各々の企業活動とYEG活動の両立を図ります。その為に、事業活動の選択と集中を行います。その上で遂行する事業については常に創造力を發揮して挑戦していく。

商工会議所の歴史は、世界では1599年フランスマルセイユに設立されたものが今日における商工会議所の形態と言われています。日本で最初の設立は明治11年、政府が民間経済界の世論・実情を把握する目的で設立した東京商法会議所です。

商工会議所は世界各地の主要都市に存在し、特徴は①地域総合経済団体、②公益性・普遍性団体、そして今日では国際貿易の振興に伴い③国際性も求められています。YEGは地域にとって大きな使命を持った商工会議所を支える青年経済人の集まりです。倉敷YEGという団体がこの時代にこの地域に存在する意義と共に考え、行動していくましょう。

力を發揮した事業に挑戦しようと。ひとり一人が創造的な活動を通じて倉敷YEGはもとより、企業活動、人間力の発展に繋げて下さい。その「創造力」と「情熱」は、各企業そして地域のなかで行う事業には様々な困難も伴いますが、仲間と力を合わせてひとつ一つの事業を大切にして乗り越えていきましょう。そして、皆さんの思い出として歴史に刻んで下さい。まずは、大きな基礎的第一歩として様々な事業を行う前に、会の中心である例会を全員でもつともっと大切にし、更に充実した内容にしていきましょう。そして、倉敷YEGという組織の創造的発展に繋げていきましょう。

事業方針

- 例会を倉敷YEGの中心と考え出席人数100名を目指す(4・8・1・3月)
- 各委員長は委員会運営を創意工夫し、勉強会・社会体験実施を積極的に推進する
- 創造力を發揮した事業運営を目指し、学びの機会をより多く創出する